

2015年3月13日 金曜日
東海新報

5年ぶり「高田対決」

大分県後 高田市とチャレンジデー5月27日に 陸前高田市



3年連続の勝ち（写真は昨年の様子）陸前高田市

住民のスポーツ参加 23回を迎える。率を誇る今年もチャレンジデーは5月27日、同日人口規模の自治体（水）、全国一斉に行われ、午後9時までの間に15万人、気仙沼一参加、分1つ編成して運動した。住民の割合を競う。敗北分県後高田市と対決する。チャレンジデーは、メーンイベントとして「高田対決」は、毎年5月の最終水曜日、世界各國1300自治体で一斉に行われて、国内、開催される。2015年、人口1万2千500人の陸前高田市のチャレンジデーは、16回目の参加となる。今年で、対戦相手となる陸前高田市の人口は、2万5千500人。陸前高田市の人口は、2万5千500人。陸前高田市の人口は、2万5千500人。

陸前高田市のチャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日、世界各國1300自治体で一斉に行われて、国内、開催される。2015年、人口1万2千500人の陸前高田市のチャレンジデーは、16回目の参加となる。今年で、対戦相手となる陸前高田市の人口は、2万5千500人。陸前高田市の人口は、2万5千500人。

感謝込めて「勝利」を

27日にチャレンジデー開催 陸前高田市



27日のプログラムを確認した実行委員陸前高田市

陸前高田市のチャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日、世界各國1300自治体で一斉に行われて、国内、開催される。2015年、人口1万2千500人の陸前高田市のチャレンジデーは、16回目の参加となる。今年で、対戦相手となる陸前高田市の人口は、2万5千500人。陸前高田市の人口は、2万5千500人。

チャレンジデー2015スケジュール

イベント・プログラム	実施場所
オープニングイベント	開会行事 6:00~7:00 ○開会式 ラジオ体操第一、ストレッチ
ファイナルイベント	18:30~20:15 ・めめちゃん体操等 ・フットサル ・陸前高田の松の木 ・きよしのスズコ節 ・しあわせ音頭 ・チャオチャオ陸前高田 ・高田音頭
ロージャンプ・X	各参加中学校校庭 ・気仙 11:45~12:35 ・高田一 11:50~12:40 ・横田 13:35~14:25 ・高田東 15:00~16:00
職員厚生会	12:30~13:00 グラウンドゴルフ(グラウンドゴルフ協会) 9:00~12:00 ゲートボール(ゲートボール協会) 9:00~16:00 フットサル大会(フットサル協会) 19:00~21:00
その他イベント	市内8カ所 ・東部サービスセンター 10:00 ・業王業付近 10:00 ・財前災害公営住宅 11:00 ・西下災害公営住宅 ・マイヤ達の里店 ・下野災害公営住宅 13:00 ・市営住宅水上田城 14:00 ・市営住宅水上田前 15:00 みんなで玉入れ(総合型)くぜんたかた) 10:00~16:00 剣道稽古会 19:00~20:00

2015年5月21日 木曜日
東海新報

73・2%で激戦制す

今年もチャレンジデー勝利 陸前高田市



今年も70%超えを果たした陸前高田市のチャレンジデー。小友町

27日のチャレンジデーまでの間に15回以上運動をした人口は2万5千500人のうち、12,015人が参加した。対し、参加者は1万4,888人。参加率は73・2%で、昨年は73・1%だった。今年もチャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日、世界各國1300自治体で一斉に行われて、国内、開催される。2015年、人口1万2千500人の陸前高田市のチャレンジデーは、16回目の参加となる。今年で、対戦相手となる陸前高田市の人口は、2万5千500人。陸前高田市の人口は、2万5千500人。

2015年5月29日 金曜日
東海新報

主催

七ヶ浜町チャレンジデー実行委員会（実行委員長 齋藤敏昭）
七ヶ浜町教育委員会生涯学習課
〒985-0802 宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山 5-9
生涯学習センター
TEL：022-357-3302 FAX：022-357-2615

結果

人口：19,430人	宮城県七ヶ浜町	●
参加者数：10,850人	VS	
参加率：55.8%	香川県多度津町	○
取得メダル：金		

プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①しちがはまクリーン大作戦（町内各地）730人
 - ・しちがはまクリーン大作戦は七ヶ浜町内の一斉清掃活動です。5月27日（水）を清掃日と設定し、各地区の区長に清掃活動への参加と人数のとりまとめを依頼しました。平日の早朝でありながら、たくさんの町民にご参加いただき、今年のテーマである「クリーン」を町全体で達成できたと思います。また、仮設住宅の住民にもクリーン大作戦への参加を依頼し、約100名の参加がありました。
- ②体協スポ少対抗5人6脚タイムトライアル（アクアリーナ）120人
- ③七ヶ浜町内ウォーキングツアー（町内各地）60人
- ④一緒におどろう！カントリーダンス！（アクアリーナ）40人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／自治会・町内会

メディア

KHB 東日本放送「夕方のニュース」

広報・周知

全戸配布するチラシ兼報告用紙は、年配の方々からの参加報告を獲得するために、なるべく簡潔にわかりやすい内容でまとめました。前年の反省を踏まえ、実施1週間前にチラシを配布することで、当日に手元に報告用紙がない！ということをなくしました。

製作物

チラシ7,500枚／スタッフTシャツ340枚／のぼり80枚／横断幕・懸垂幕10枚

実施効果

健康やスポーツ活動への興味を持ってもらえたと思います。参加率を見ても町民の半分以上が参加しました。

担当者から

前任者から引き継ぎ、はじめてチャレンジデーを担当しました。いろいろな苦労がありましたが、各団体への依頼の際の情報伝達の難しさを痛感しました。こちらが伝えたい情報が意図していない方向に進んでしまったり中途半端な情報で、協力いただく区長やスタッフに迷惑をかけました。

もし、来年も実施できれば、情報の伝え方、収集の仕方を検討したいと思います。当日もスタッフ間で情報が錯綜したり、打合せ通りにいかないことがありましたが、すべてのイベントでケガなく無事に終了することができ、まずはホッとしました。

チャレンジデー翌日に、回収箱とのぼりの撤去作業をしていると多くの町民から「惜しかったな！」「来年は頼むよ！」という心温まる言葉をたくさんいただきました。勝負には敗れましたが、七ヶ浜町の多くの方々に協力いただいたイベントだったと改めて肌で感じました。

今回の結果で3勝4敗、負け越しになってしまいましたが、結果を受け止めるとともに、チャレンジデーをきっかけに七ヶ浜町のスポーツ振興を進めていきたいと思っています。



仮設住宅クリーン大作戦



チームワーク抜群のバレエ協会チーム

住民総参加！自治体 vs 自治体の対抗戦！

チャレンジデー 2015

<全国一斉開催>

- 主催 セツ浜町チャレンジデー実行委員会
- 共催 セツ浜町・セツ浜町教育委員会・セツ浜町体育協会
- 日時 平成27年5月27日(水) 午前0時～午後9時
- 場所 セツ浜町内(自宅や学校・職場などどこでもOK)

5月27日(水)

毎年5月の最終水曜日に実施しています！



15分間運動して報告しよう！！

チャレンジデー PR 用 チラシ (表面)

①チャレンジデーとは?? CHALLENGEDAY

チャレンジデーは日常的なスポーツの慣習化に向けたきっかけづくり、健康づくり、そして地域の活性化を目的とした住民参加型イベントです。
今年では全国で130の自治体が参加し、事前に対戦を決めた相手の市町村と、5月の最終水曜日に、15分以上の運動をした住民の方の割合で勝敗を競います。

②対戦相手は??

抽選の結果、参加する全国の自治体から**香川県多度津町**に決定しました！
<多度津町> 人口：23,645人 (セツ浜町：19,337人)
面積：24.38㎢ (セツ浜町：13.27㎢)
その他：小中学校5校、参加17回、瀬田で四国鉄道発祥の町

③どうやって報告するの??

I. 電話 II. 報告用紙を回収ボックスに投函またはファクス III. メール

1. ご家族以外でも一緒に運動した方がいましたら、まとめて報告してください
2. 町内の幼稚園、保育所、小中学校、団体、企業などでカウントした場合は、ご家庭からの報告は不要です
3. 中・高校生の自転車通学もカウント対象になります。忘れずに報告してください。

④こんな運動もカウントの対象になります!!

- ・ウォーキング、ジョギング・回収BOXまで歩いて投函・家庭での家事
- ・家庭でのストレッチ・町外の方とセツ浜で運動(参加者全員を報告してください)
- ・自転車で通勤、通学・犬と散歩・端仕事などからだと動かせばなんでもOK

<回収ボックスの設置場所について>

報告は最寄りの回収ボックス(右図)に投函してください。
各地区の設置場所は以下の通りです。

- | | |
|----------------|----------------|
| ①セツ浜町役場(16時まで) | ⑪境山公民分館 |
| ②アクアゆめクラブ | ⑫亦楽公民分館 |
| ③中央公民館 | ⑬遠山公民分館 |
| ④汐見台郵便局(16時まで) | ⑭汐見台第1分館 |
| ⑤菖蒲田郵便局(16時まで) | ⑮汐見台第2分館 |
| ⑥吉田浜郵便局(16時まで) | ⑯汐見台南第1分館(集会所) |
| ⑦湊浜公民分館 | ⑰汐見台南第2分館(集会所) |
| ⑧隠集会所(松ヶ浜) | ⑱佐藤魚店(代ヶ崎浜) |
| ⑨東宮浜公民分館 | ⑲応急仮設住宅各集会所 |
| ⑩要害公民分館 | |



チャレンジデー当日は16時と21時の2回、回収します!!

チャレンジデーイベント参加者大募集

イベントの詳細は、アクアゆめクラブ(357-7920)までお問い合わせください



しちがはまクリーン大作戦!!

6:30~7:00【自由参加】

セツ浜町内

みんなで気持ちのいい朝にしよう!

セツ浜町内ウォーキングツアー

9:00~12:00【申し込み制】

サッカースタジアム集合・解散

約10キロを3時間かけてゆっくり歩きます!

一緒におどろろ! カントリーダンス!

10:00~12:00【申し込み制】

アクアリーナ

初心者大歓迎! フォークダンスに似た

おしゃれなダンス。みんなで踊りましょう!

5人6脚タイムトライアル!

19:30~21:00【体協・スポ少】

アクアリーナ

チャレンジデーファイナルイベント

各団体のチーム力を発揮しよう!

ワンポイント情報

今年の対戦相手は香川県、名産品は讃岐うどんです。

相手の文化を理解するために、この日はうどんを食べる

ことをオススメします! うどんを食べて勝利しよう!

CHALLENGEDAY

セツ浜クリーン大作戦にご協力ください! 👍

5月27日(水)6:30~7:00までの時間を町内一斉清掃日に設定しています。

6:30になりましたら、清掃用具を持参のうえ、各地区集合場所にお集まりください!

それぞれの集合場所は以下の通りです。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ①湊浜地区：湊浜地区避難所 | ②松ヶ浜地区：新松ヶ浜避難所 |
| ③菖蒲田浜地区：諏訪神社 | ④花瀬浜地区：花瀬浜ホップ車庫 |
| ⑤東宮浜地区：東宮浜公民分館 | ⑥代ヶ崎浜地区：代ヶ崎浜ホップ車庫 |
| ⑦吉田浜地区：吉田浜公民分館 | ⑧境山地区：境山公民分館 |
| ⑨遠山地区：遠山地区避難所 | ⑩汐見台3.4.5丁目地区：汐見台第1分館 |
| ⑪汐見台1.2.6丁目地区：汐見台第2分館 | ⑫汐見台南1丁目地区：汐見台南第1分館(集会所) |
| ⑬汐見台南2丁目地区：汐見台南第2分館(集会所) | ⑭亦楽地区：亦楽公民分館 |
| ⑮要害・御林地区：要害公民分館 | |

みなさんひとりひとりのチカラが必要です! ご協力宜しくお願い致します!

チャレンジデー PR 用 チラシ (裏面)



スタッフ会議中! 回収ルートの確認!

主 催

チャレンジデー東松島市実行委員会 (会長 阿部秀保)
東松島市教育委員会 生涯学習課
〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸 36-1
TEL: 0225-82-1111 FAX: 0225-82-1845

結 果

人 口: 40,204 人 宮城県東松島市 ● ●
参加者数: 18,204 人 VS
参加率: 45.3% 大分県豊後大野市 ○
取得メダル: 銀 沖縄県南城市 ○

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ファイナルイベント (東松島市民体育館) 248 人
2部構成
 - 1.「仙女アクション体験」コーナー: センダイガールズプロレスリングから、里村明衣子さん、仙台幸子さん、DASH・チサコさん、宮城倫子さんの4名の方に来ていただき、ストレッチと軽いウォーミングアップを実施しました。
 - 2.ギネスに挑戦東松島: スリッパ飛ばし、その場で馬跳びMax、片足立ちに挑戦し、東松島ローカルルールを取り入れながら実施しました。
- ②ゲートボール大会 (鷹来の森運動公園屋内運動場) 81 人
- ③グラウンド・ゴルフ大会 (鷹来の森運動公園屋外運動場) 52 人
- ④全国共通イベント 空き缶積み上げ (市民体育館) 29 人
- ⑤アロマヨガ教室 (赤井地区体育館) 35 人

【アスリート・著名人など】

里村明衣子 (センダイガールズプロレスリング 代表) / 仙台幸子、
DASH・チサコ、宮城倫子 (センダイガールズプロレスリング 所属)

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/商工会・青年会議所/自治会・町内会/社会福祉協議会

メディア

石巻日々新聞/ KHB 東日本放送「スーパー」チャンネル宮城」

広報・周知

- ・のぼりや横断幕、ポスターなどの啓発グッズを設置、配布する時期を例年より早めました。
- ・市内だけではなく近隣の市町からより多くの方に参加して頂くように、新聞広告で広域的な広報を行いました。

製作物

チラシ3,000枚/スタッフTシャツ7枚/のぼり194枚/横断幕・懸垂幕17枚/新聞折り込み用チラシ9,000枚

実施効果

- ・地域ごとにイベント内容の計画から実施まで行ったことで、地域の交流の場となりました。

- ・グラウンド・ゴルフをはじめ、ニュースポーツ体験を行ったことで、その後に開催した市主催グラウンド・ゴルフ大会では前年より多い参加者が集まり実施することができました。

担当者から

今年は、目標を昨年の参加率を上回る45%以上と設定し実施いたしました。2年続けての勝利ということにはなりませんでしたが、参加率45.3%と昨年を上回るという目標を達成することができたことは本当に良かったと思います。そして何より、今回のチャレンジデーを通して、地域内での交流や運動をするきっかけづくりができたことが良かったと思います。



おらほのラジオ体操



仙女の皆さんと一緒に!!



アロマヨガ教室

主 催

秋田市チャレンジデー実行委員会 (名誉会長 穂積 志)
秋田市教育委員会スポーツ振興課
〒010-0951 秋田県 秋田市山王二丁目 1-53
山王 21 ビル 4F
TEL: 018-866-2247 FAX: 018-866-2545

結 果

人 口: 318,826 人	秋田県秋田市 ●
参加者数: 69,237 人	VS
参加率: 21.7%	山口県山口市 ○
取得メダル: 銀	

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①チャレンジデーみんなでラジオ体操 (あきぎんスタジアム) 513 人
・チャレンジデーへの参加気運を高めること目的に、オープニングイベント「チャレンジデーみんなでラジオ体操」として、参加者全員による、ラジオ体操等を取り入れた 15 分間継続した運動を行いました。
- ②チャレンジデーブラウブリッツパーク (年代別サッカー交流大会、キッズ体験コーナー) (あきぎんスタジアム) 434 人
- ③チャレンジデーなかいちパーク (3B 体操、武術太極拳、リフレッシュ体操、スポーツ吹き矢) (エリアなかいち) 340 人
- ④チャレンジデーダンスパーティー (社交ダンス) (市立体育館) 153 人
- ⑤チャレンジデーベースボールパーク (500 歳野球、ホームラン競争) (八橋野球場) 130 人
- ⑥わくわくチャレンジデー (就学前の親子を対象としたリズム体操等) (各市民サービスセンター) 110 人
- ⑦チャレンジデー共催イベント (8 人制バレーボール大会、グラウンド・ゴルフ大会、水中健康増進教室) (太平山リゾート公園ほか) 1,090 人
- ⑧チャレンジデー無料開放イベント (市内小学校、体育施設) (市内小学校体育施設、市有体育施設) 563 人

【アスリート・著名人など】

遠藤純男 (元柔道選手 モントリオール五輪 銅メダル) / 安部欣哉 (元フェンシング選手 バルセロナ五輪出場) / ブラウブリッツ秋田 (サッカー J3 リーグ)

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / レクリエーション協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 民間フィットネスクラブ / 幼稚園 / 保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 大学・専門学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 障害者団体 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設 / 障害者施設

メディア

秋田魁新報 / ABS 秋田放送テレビ「every. (ABS ニュース) / AKT

秋田テレビ「スピーク (AKT ニュース)」 / AAB 秋田朝日放送「J チャン (AAB ニュース)」 / ケーブルテレビ / ABS ラジオ「こくじょうラジオ」

広報・周知

- ・広報やホームページのほか、新聞やテレビ・ラジオ等で広く市民に周知しました。
- ・電話オペレーターにより、市民の中から無作為に抽出した約 2,000 人に対し、PR 活動を行うとともに、本市スポーツマスタープランに掲げる基本目標に関する設問も加え、既存スポーツ施策の経年的な効果等を検証する機会としても実施しました。

製作物

チラシ 4,000 枚 / ポケットティッシュ 2,000 個 / のぼり 50 本 / 横断幕・懸垂幕 10 枚 / リフレッシュペン 2,400 本

実施効果

- ・チャレンジデーの開催を契機に、市民へスポーツの関心と習慣化を喚起することができました。
- ・子どもから高齢者まで、誰でも気軽に参加できるイベント等を企画・開催したことにより、参加者からは大変好評であり、是非、来年以降も参加したいという意欲的な意見を多くいただきました。
- ・トップスポーツクラブをはじめとする、NPO などの各種スポーツ団体と連携・協力したことにより、団体との連携のさらなる強化が図られました。

担当者から

本市のチャレンジデー実施は、人口規模によるカテゴリーが最大域であったことに加え、初挑戦による試行錯誤の中で準備期間の短さもあり、山口市との対戦には敗れてしまいました。

しかしながら、多くの市民に、「運動やスポーツによる健康づくり」の新たな目標ができたものと、来年以降の継続に大きな意義を感じております。

また、今後は、チャレンジデー勝敗の結果だけにこだわるのではなく、本市が平成 20 年に宣言した「はずむスポーツ都市」の実現に向け、全市民がいつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりに努めてまいります。



オープニングイベント「みんなでラジオ体操」

主 催

井川町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 齋藤多聞)
井川町教育委員会
〒018-1523 秋田県南秋田郡井川町坂本字山崎 19
TEL : 018-874-3668 FAX : 018-874-3668

結 果

人 口 : 5,143 人	秋田県井川町	○
参加者数 : 4,215 人	VS	
参加率 : 82.0%	長野県喬木村	●
取得メダル : 金		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①井川小学校ランニング (井川小学校グラウンド) 216 人
- ②井川中学校「サーキットトレーニング」(井川中学校体育館) 134 人
- ③井川子どもセンター「親子で楽しむ運動遊び」(日本国花苑) 220 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

メディア

秋田魁新報／湖畔時報

広報・周知

- ・チャレンジデーの参加者を 29 町内会の対抗競争方式で実施し (参加率 1% を 1 点)、全町運動会の総合得点に加点、総合表彰に加え、チャレンジデー参加率上位町内会を表彰することで盛り上がり、チャレンジデー実施の成果が現れています。また、実施前に町内会長及び体育部長会議を開くことで、より一層の競争意識が向上しました。
- ・町内会長・班長への個別説明に努めるとともに、町民には、自作でラベルを貼り付けたボックスティッシュを配布し、PR に努めた結果、参加率のアップにつながりました。
- ・企業等へは、個別訪問を行い、全面協力してもらうことができ、従業員のチャレンジデー参加への意識の向上につながりました。

製作物

チラシ 2,000 枚／ポケットティッシュ 1,000 個／のぼり 20 本／タオル 300 枚／町内表彰トロフィー 6 個／ボールペン 460 本

実施効果

今回 5 回目の挑戦で、今まで参加率の低かった人口が多い地区の参加率が前回に比べてアップしました。実施回数が増えること

で、町民の健康への意識が向上したことが参加率アップの要因とみられます。実施することにより、町民の健康づくりへの意識が向上していくことを期待しています。

担当者から

本町は、5 回目の実施となりますが、各企業・町内会等に直接個別説明したり、町民への有線放送での呼びかけ、チラシ、PR 用ボックスティッシュの全戸配布など PR に努めた結果、チャレンジデーが近づくにつれて、問い合わせも多くなり、関心の高さがうかがえ、昨年より参加率アップとなりました。チャレンジデーを通して町民が運動をすることや、健康づくりに興味があるのがわかりました。

また健康づくりのために、町民がどのくらい運動しているのかなど、チャレンジデーを通じデータとして入手することができました。このことは、今後のまちづくりのための貴重な資料となるはずで



卓球教室



親子で楽しむ運動遊び

主催

羽後町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 安藤 豊)
羽後町教育委員会
〒012-1131 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字中野 187
羽後町総合体育館
TEL: 0183-62-1323 FAX: 0183-62-1323

結果

人口: 16,353人
参加者数: 9,053人
参加率: 55.4%
取得メダル: 金

秋田県羽後町 ○
VS
熊本県山都町 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① 役場職員課所別対抗玉入競技大会 (羽後町総合体育館 (羽後アリーナ)) 172人
- ② 出前! ウォーキング (各地区公民館) 154人
・ だれでも、どこでも気軽にでき、その人の体力、健康に応じたプログラムであることから普及したいと考えています。
- ③ ○×クイズウォーク (羽後町総合体育館 (羽後アリーナ)) 100人
- ④ おはよう! ラジオ体操 (羽後町多目的運動広場) 97人
- ⑤ グラウンド・ゴルフ交流会 (スポーツガーデン) 99人

【アスリート・著名人など】

郡司 歩 (みちのくプロレス)

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

メディア

秋田魁新報/FM ゆーとぴあ「おしゃべりミュージックBOX」

広報・周知

羽後町健康推進委員の協力により、各地区で行われたウォーキング等のイベントへの参加要請と報告用紙の回収により、参加率向上につながったと考えます。

製作物

チラシ 15,000枚/スタッフTシャツ 220枚/ポケットティッシュ 2,000個/のぼり 30本/スタッフポロシャツ 10枚

実施効果

徐々に健康づくりに対する住民の意識高揚があり、参加率の向上につながっていると考えます。

担当者から

参加いただいた各種団体、地域の方々、関係者に改めてお礼を申し上げます。



ラジオボール卓球交流会



出前! ウォーキング教室



役場職員課所別対抗玉入競技大会

みちプロ・郡司さん参加
 観光宣伝大使に任命
 羽後町は山都町と対戦
 今回でチャレンジデー参加
 4回目となる羽後町は、熊本
 県山都町と対戦する。
 人口は羽後町が1万635
 3人で、山都町が1万652
 4人。羽後町では27日、町多
 目的運動広場でラジオ体操、町
 総合体育館でラジボール卓
 球交流会などが開催される。
 当日は、同町西馬音内出身

のプロレスラー郡司歩さん
 (26)「みちのくプロレス」が
 ラジオ体操をはじめ、各種イ
 ベントに参加。午後8時半こ
 ろから町総合体育館で実施さ
 れるファイナルイベントで
 は、郡司さんを町観光宣伝大
 使に任命する。
 郡司さんは「できるだけ多
 くの人に参加してもらい、一
 緒に盛り上げたい。地元羽後
 町の熱意を伝えたい」と意気
 込んでいる。

(木村織音)

2015年5月26日 火曜日 秋田魁新報

プロレスラー郡司さん
 古里羽後町初の
 観光宣伝大使に
 任命した。

同日のチャレンジデー・
 ファイナルイベント会場の
 町総合体育館で任命
 式が行われ、集まっ
 た町民約100人を
 前に安藤豊町長が郡
 司さんに委嘱状を手
 渡した。

郡司さんは「プロ
 レスラーになって古
 里に貢献するのが夢
 だった。できること
 から始め、全力で羽
 後町をPRしたい」
 と意気込みを語っ
 た。(木村織音)



羽後町は27日、同町西馬
 音内出身のプロレスラー郡
 司歩さん(26)「みちのく
 プロレス、岩手県滝沢市在住
 」を同町初の観光宣伝大使
 に任命した。

2015年6月1日 月曜日 秋田魁新報

主 催

大潟村チャレンジデー実行委員会 (村長 高橋浩人)
大潟村教育委員会 生涯学習班 村民体育館
〒010-0441 秋田県南秋田郡大潟村北 2-1
TEL : 0185-45-2269 FAX : 0185-45-2685

結 果

人 口 : 3,284 人	秋田県大潟村	○
参加者数 : 1,430 人	VS	
参加率 : 43.5%	熊本県山江村	●
取得メダル : 銀		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①あぜ道ウォーキングと村内ウォーキング (村内圃場・他) 500 人
 - ・農業人口がほとんどを占める大潟村では農繁期の忙しい時期ですが、「田んぼのあぜ道ウォーキング」や「苗運びストレッチ」など農家の皆さんが農作業の一貫で「チャレンジデーに参加している」という意識を持って運動することでカウント対象となることを PR し、参加率アップを図りました。
- ②ラジオ体操 (村商店街広場及び各事業所内) 400 人
- ③リズム遊び・踊り・シェイプアップ教室 (大潟保育園・幼稚園・小学校・中学校) 350 人
- ④グラウンド・ゴルフ (多目的運動広場) 150 人
- ⑤元気はつらつ教室 (ふれあい健康館) 50 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／事業所・企業／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設

メディア

秋田魁新報

広報・周知

- ・チャレンジデーというイベントの実施目的と運動やスポーツを通じて地域住民の健康に対する意識の向上を図ることができました。
- ・農繁期にあたるため、農作業の合間に「あぜ道ウォーキング」などのプログラムを実施し、村民にチャレンジデーに参加しているという意識を与えることができました。

製作物

チラシ 1,100 枚／ポスター 50 枚

実施効果

チャレンジデーを実施することにより、地域住民の健康やスポーツに対する意識の向上、継続的に気軽にスポーツに親しんでもらうためのきっかけづくりができました。

担当者から

今年初挑戦の大潟村ですが、農繁期のため参加予想ができませんでした。しかし住民の参加率は 40% を超え、予想以上の参加報告をいただくことができました。

今回のチャレンジデー開催を契機に住民がスポーツを楽しみながら健康づくりに努め、継続して親しんでもらうためのイベントの企画や周知を、これからも図りたいと思います。



ラジオ体操指導を行うスポーツ推進員



懇親会前のラジオ体操

主 催

大館市チャレンジデー実行委員会 (会長 福原淳嗣)
大館市教育委員会 教育総務課 スポーツ振興室 スポーツ振興係
〒018-3595 秋田県大館市早口字上野43-1
田代総合支所内
TEL: 0186-43-7148 FAX: 0186-54-6999

結 果

人 口: 76,660人	秋田県大館市	○
参加者数: 53,370人	VS	
参加率: 69.6%	長崎県大村市	●
取得メダル: 金		

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①チャレンジデー 2015 in おおだて開始式 (大館樹海ドーム) 850人
 - ・開始式は、毎年行っている恒例行事です。市長、実行委員、スポーツ推進委員、保育園、小学校、婦人会、老人クラブなど、市民に広く参加を呼びかけ、全員で「ガンパロー宣言」とラジオ体操を行っています。大館市の観光キャラクター「はちくん」と一緒に子どもたちが「はちくんダンス」を披露し、市民に周知するきっかけとなりました。
 - ・ラジオ体操後は、各イベントを開催、ドームアリーナを市民に開放しています。特に、今年は市長と市民と一緒にノルディックウォーキングを楽しみました。また、幼児が遊べるコーナー、小学生の頭脳戦「スポーツ鬼ごっこ」、大人のための体力テスト、子どもから老人まで楽しめるニュースポーツのコーナーを充実させて、参加者はさまざまなスポーツを体験しました。
- ②教育長杯ロープ・ジャンプ・X (各小学校) 666人
- ③秋田県王者に挑戦! 市民対抗綱引大会 (大館樹海ドーム) 100人
- ④ピラティス体験会 (大館樹海ドーム) 40人
- ⑤ボクササイズ (比内体育館) 37人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

メディア

北鹿新聞/秋田魁新報/大館ケーブルテレビ「ケーブル情報局おおだて」

広報・周知

- ・チャレンジデー PR のため、マラソン大会で PR ブースを設けたり、早朝のラジオ体操開始式に参加してチャレンジデーを紹介、市民へ参加を呼びかけました。
- ・チャレンジデー実行委員会事務局のある市役所支所内の全職員にスタッフ T シャツを配布し、勤務時間などに着用、市民への PR に努めました。T シャツがきっかけとなり、市民の方との対

話が広がりました。

- ・希望する町内会や団体へのぼりを寄贈し、地域での PR に協力していただきました。積極的に活動する町内会が増え、チャレンジデー当日は早朝からラジオ体操やゴミ拾いウォーキングを行っている団体を多く見かけることができました。
- ・市の広報車で、市内を巡回する際にチャレンジデー参加を呼びかけた音声を流し、市民へ周知しました。
- ・チャレンジデー当日の参加報告場所として協力いただいた地域公民館すべてにのぼりを寄贈し、事前の PR、報告場所の目印として利用いただきました。
- ・ウォーキングコース入り口へチャレンジデーの看板を設置し、公園利用者へ PR を行いました。

製作物

チラシ 5,000 枚/スタッフ T シャツ 180 枚/「教育長杯ロープ・ジャンプ・X」優勝杯 1 個/「市民対抗綱引大会」準優勝楯 3 個/「市民対抗綱引大会」優勝トロフィー 3 個

実施効果

- ・市民からの意見を参考にしました。チャレンジデーを通じて、運動・健康に対する市民の意識が高まってきているのが感じられました。
- ・全国共通イベントを全小学校で行ったことにより、運動だけでなく、子どもたちの仲間意識、心を育てるきっかけ作りにつながりました。
- ・新しいイベントを企画・運営したことで、スポーツに対する意識の向上と、参加人数の増加につながりました。たくさんのスタッフが協力し成功できたことは、今後の新しい取り組みを進めていくうえでとても励みになりました。
- ・体育施設の無料開放やイベントの開催により、施設の利用者数が増えました。継続して運動できるきっかけ作りにつながったと思います。
- ・PR の方法を拡大させたことにより、さらに多くの市民に周知することができました。
- ・介護施設に通院している高齢者や施設のスタッフにも協力を仰ぎ、リハビリ運動やウォーキングなどを積極的に行ってもらいました。幅広い年齢層の方々に運動に対する意識を高めてもらうきっかけとなりました。

担当者から

今年は 3 回目の実施となり、チャレンジデーは市民に認識されてきていますが、参加報告の方法はまだ十分に周知されていないのが現状です。来年は報告の方法や周知の仕方を見直し、さらに参加者の増加につなげたいと思います。

回数を重ねるごとに参加率は少しずつ増加しており、今年は念願だった初勝利と金メダルを獲得することができました。スタッフが少ない中でイベントを見直し、新しい企画を進めることはとても勇気のいることでしたが、たくさんの支えと知恵をいただき、無事に(?) 終えることができました。

当日は多数の運営スタッフの協力により、市民に楽しんで参加してもらうことができました。参加率を 1% 増やすことの難しさを改めて知り、今後もスポーツによる健康づくり・体力づくりのお手伝いのできる取り組みを続けていきたいと思いました。

2015年5月20日 水曜日
北鹿新聞



「わんわん対決」に意欲

長崎県と福原・大館市長がエール交換

本報を向かいの福原市長は「わんわん対決」に意欲を示し、長崎県と福原・大館市長がエール交換した。福原市長は「わんわん対決」に意欲を示し、長崎県と福原・大館市長がエール交換した。福原市長は「わんわん対決」に意欲を示し、長崎県と福原・大館市長がエール交換した。

スカイプでエール交換する福原市長（大館市役所）

チャレンジデー

ワンワン対決 勝利を

大館市と各地で多彩にスポーツ



はちくんだンスを踊って楽しむ子どもたち（大館市南ドーム）



心を一つに記録を狙う西原（西原小）



20人で挑戦する青浦（青浦小）

大館市と各地で多彩にスポーツが行われ、市民の健康増進を図っている。大館市は「ワンワン対決」の一環として、市内各地で多彩なスポーツイベントを開催している。大館市は「ワンワン対決」の一環として、市内各地で多彩なスポーツイベントを開催している。



スピード・ラダーゲッターを楽しむ参加者（田代公民館付属体育館）



真剣な表情でプレーする参加者（田代公民館付属体育館）

2015年5月28日 木曜日
北鹿新聞



「開始式」全員でラジオ体操



女性に人気！ピラティス体験会

主催

男鹿市チャレンジデー実行委員会 (会長 渡部幸男)
男鹿市教育委員会 生涯学習課
〒010-0595 秋田県男鹿市船川港船川字泉台 66-1
男鹿市役所
TEL: 0185-24-9102 FAX: 0185-24-9156

結果

人口: 30,205人 秋田県男鹿市 ○
参加者数: 15,858人 VS
参加率: 52.5% 鹿児島県奄美市 ●
取得メダル: 金

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①買い物ウォーキング (市内スーパー4店舗) 3,056人
- ②チャレンジデー大使によるラグビー教室 (脇本近隣公園グラウンド) 100人
- ③なまはげ健康ウォーキング (男鹿市総合運動公園球技場周辺) 65人
- ④膝や腰の痛みを和らげる運動教室 (男鹿市総合体育館) 42人
・男鹿みなと市民病院 理学療法士を講師にお招きし、高齢者を対象とした、膝や腰の痛みを和らげるストレッチ運動を行いました。

【アスリート・著名人など】

秋田ノーザンブレッツ (ラグビー トップイーストリーグ) /
ブラウブリッツ秋田 (サッカー J3リーグ)

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所・企業 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設

メディア

日の出新報

広報・周知

本市では、市広報へPRチラシを折り込み、周知することが最も効果のあった周知方法だと感じました。

製作物

スタッフTシャツ 50枚 / ポケットティッシュ 20,000個 / のぼり 20本 / タオル 300本 / 参加賞色鉛筆 600本 / 参加賞ボールペン 2,300本 / チラシ 1,500枚

実施効果

- ・年々、参加協力していただける団体・企業等が増え、チャレンジデーの浸透と健康づくりに対する意識が高まってきたと思います。
- ・住民の相互交流が図られました。

担当者から

今回で4回目の実施となり、目標の「50%」を達成することができました。当日は悪天候にもかかわらず、参加・協力していただいた皆さんに感謝します。目標を達成できたのも、「チャレンジデー」が住民に浸透し、健康づくりへの意識も高まっているためだと思います。今後は、町内会など地区単位での取り組みを活発にすることで、参加率の向上、地域の活性化に繋がると考えます。これからも、チャレンジデーを通じて、住民の健康づくりに役立てられるように進めていきたいと思ひます。



なまはげ健康ウォーキング



チャレンジデー大使によるラグビー教室



膝や腰の痛みを和らげる運動教室

★男鹿市チャレンジデー2015★

市民総参加で創ろう
健康社会—OGA!

参加率
50%以上
金メダル

平成27年5月27日(水)開幕!!

チャレンジデーってなに?

▶「15分間継続して運動をした人の参加率」を競う、「住民総参加型」のスポーツイベントだよ!

どんなことをするの?

▶15分間継続して運動をし
らなくてもいいよ!

例えば、ウォーキング、グラウンドゴルフ、ダンスとか色々あるよね!ただ運動をするだけでなく、友達を誘ったり、近所の人に呼びかけたりすると、絆が深くなるからいいかもね!

他にもどんなことをするの?

●なまはげ健康ウォーキング
会場：男鹿市総合運動公園球技場周辺
時間：集合 9時30分(球技場)
出発 10時～11時30分

●膝や腰の痛みを和らげる運動教室
会場：男鹿市総合体育館
時間：13時30分～15時

●買い物ウォーキング
市内の「いとく男鹿店」「スーパーセンターアマン男鹿店」「ドジャース男鹿店」、「マックスバリュ男鹿店」の4店舗で買い物ウォーキングを行います。
時間：10時～21時

運動をしたかどうかするの?

▶9時から21時までに、最寄りの公民館か体育館に報告してね!
詳しくは裏面を見てね!



★お問い合わせ先★

男鹿市チャレンジデー実行委員会事務局
男鹿市教育委員会 生涯学習課 生涯学習スポーツ班
TEL:0185-24-9102 FAX:0185-24-9156
E-Mail: sports@city.oga.akita.jp

チャレンジデー、みんなが主役!

チャレンジデー PR 用チラシ (表面)

CHALLENGED

対戦自治体
鹿兒島県奄美市
ってどんなところ?



日本で2番目に
大きいマングローブ
の原生林

郷土料理 鶏飯

奄美黒糖焼酎

★古きよき伝統文化や
精神を継承しつつ、人
と自然、文化との密接
な関わりを持つ街!

報告用紙

住所(地区)	なまえ	性別	どんな運動をしましたか?
例：真山	なまはげ 太郎	男・女	なまはげ太鼓
		男・女	

【報告先】【受付時間】 9:00～18:00(※18:00時以降は男鹿市役所本部、男鹿市総合体育館まで報告してください)

名称	TEL	FAX	名称	TEL	FAX
中央公民館	23-2251	23-2253	船川北公民館	24-3140	24-3140
船川港公民館	23-2652	23-2253	橋公民館	27-2111	27-2100
北瀬公民館	33-2112	33-2200	戸賀公民館	37-2111	37-2100
島本公民館	25-2112	25-4500	五里合公民館	34-2810	34-2100
船越公民館	35-2210	35-2100	産業コミュニティセンター	46-4109	46-2224
男鹿中公民館	33-2039	33-3200	若狭総合体育館	46-3113	46-3114

【受付時間】 9:00～21:00

名称	TEL	FAX	名称	TEL	FAX
男鹿市役所本部 (事務局)	24-9223 24-9224	23-2424	男鹿市総合体育館	23-3040	23-2530
男鹿市教育委員会 (生涯学習課)	24-9102	24-9156	E-mail:sports@city.oga.akita.jp		

※男鹿市役所本庁については、チャレンジデー当日のみの、本部・事務局になります。

チャレンジデー、みんなが主役!

チャレンジデー PR 用チラシ (裏面)

主催

潟上市チャレンジデー実行委員会 (会長 石川光男)
 潟上市教育委員会 教育部 文化スポーツ課
 〒010-0201 秋田県潟上市天王字棒沼台 226-1
 潟上市役所
 TEL : 018-853-5363 FAX : 018-853-5277

結果

人口 : 33,899 人	秋田県潟上市	○
参加者数 : 23,783 人	VS	
参加率 : 70.2%	佐賀県神埼市	●
取得メダル : 金		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①買物ウォーキング(市内 15 会場(道の駅、ショッピングセンター等)) 6,734 人
 - ・市内都市公園や、道の駅、大型ショッピングセンターに協力を依頼し、来訪者・来客を対象に買物をしながらのウォーキングをしたことで、チャレンジデーに参加したという意識を持っていただくプログラムです。
- ②スポーツクラブイベント (潟上市天王総合体育館、潟上市昭和体育館、潟上市出戸コミュニティセンター) 447 人
- ③レクリエーション体操、ペタンク講習 (潟上市天王総合体育館、潟上市昭和体育館、潟上市飯田川体育館) 261 人
- ④グラウンド・ゴルフ交流会 (潟上市天王多目健康広場、潟上市昭和グラウンドゴルフ場) 187 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設／消防団

メディア

湖畔時報／日の出新報

広報・周知

表面はチラシ、裏面は報告用紙の PR 用チラシを作成し、全戸配布しました。

公共施設だけでなく、地域の集会所等へもチャレンジデーの「のぼり」を設置し、イベントの周知をしました。これにより自治会等に広くアピールすることができ、その結果、自治会等による自主イベントの開催につながったものと考えております。

市の防災無線、有線放送を通じて広報をすることで、全市民にチャレンジデー参加の意識づけを行いました。

製作物

チラシ 14,000 枚／スタッフ T シャツ 150 枚／のぼり 20 本／名入

ボールペン 14,300 本／巨大縦幕 (メイン会場の外へ設置) 1 枚

実施効果

- ・各種団体による自主イベントが増加しており、チャレンジデーが浸透してきているのを感じています。また、自主イベントの企画等を通じて地域コミュニティの形成と健康づくりに対する意識の向上が図られました。
- ・チャレンジデーを通じて市内にある体育施設や、スポーツ団体の活動の周知が図られました。
- ・総合型スポーツクラブからの事業協力により、クラブの活動が周知され、市民のクラブへの興味が高まりました。

担当者から

今年も市内各学校、自治会、老人クラブ、婦人会、事業所、スポーツ団体等、多くの団体が自主イベントを開催し、団体間の交流の促進、健康づくりにおける意識の向上が図られました。参加団体数も年々増加してきており、チャレンジデーが地域に浸透してきていると感じております。

チャレンジデー当日は、市全体が活気に溢れた 1 日となりました。これを機会として今後も地域の交流が図られ、継続的な運動・スポーツの習慣化へとつながればと思います。



レクリエーション体操



買物ウォーキング

住民総参加型のスポーツイベント チャレンジデー 2015

参加率	湯上市	70.2%
	井川町	82.0%
	五城目町	56.3%
	八郎潟町	62.8%
	大潟村	43.5%

それぞれ
頑張る!!



◆県立五城目高校では六校時、全校生徒参加のもと、体育館において五高オープジャンプX(縄とび大会)が開催された。呼吸合わせて元気にジャンプ!! だまこマンが応援にかけつけた。尚、三年C組が優勝した。



◆八郎潟町では、八郎潟町いきま交流館「はちバール」交流ホールにおいて「健康準備/運動講座 脂肪燃焼 ステップ台エクササイズ」が開催された。健康運動指導士 星良子氏が指導、子どもから大人まで町民約30人が参加した。



公益財団法人 笹川スポーツ財団主催による「チャレンジデー 2015」が五月二十七日、全国一三〇自治体参加のもと実施された。

「チャレンジデー」は毎組み、参加率82.0%となつた。五月の最終水曜日(全国)は、長野県南木村の参加率が63.8%、井川町が勝利した。八回目の参加となつた五自治体同士が午前0時から城目町は北海道芦別市、熊鷹午後九時までの間に十分本県あさぎり町と対戦、五以上継続して何らかの運動城目町は人口10182人にやスポーツをした住民の参加率、町民ら5735人が加率を競い合う。秋田県で運動・スポーツに取り組は今年、秋田市、大潟村がみ、参加率56.3%となつ初参加。全国で初めて全県は、北海道芦別市の参加率は38.0%、熊本県あさぎり町は参加率は47.0%。当日は参加の自治体で様々な運動やスポーツへの取り組みが行われた。住民らに運動、スポーツに積極的に参加、心と体の健康づくりに努めた。

二回目の参加の八郎潟町は鹿兒島県和泊町と対戦。八郎潟町は人口6324人、三回目の参加となつた湯上市は佐賀県神埼市と対戦。湯上市は人口3389人、参加率62.8%となつた。鹿兒島県和泊町の参加率は66.3%、八郎潟町は取り組み、参加率70.2%惜敗した。

初参加の大潟村は熊本県山江村と対戦。大潟村は人口3284人に對し、村が勝利した。

五回目の参加となつた井川町は長野県南木村と対戦。井川町は人口5143人、参加率43.5%となつた。熊本県山江村の参加率は43.1%、大潟村が勝利した。

2015年6月4日 木曜日 湖畔時報

チャレンジデー 2015

湯上市と電話でエール交換 神崎市と電話でエール交換

住民総参加型のスポーツ行われた。イベント「チャレンジデー」湯上市の肥田野耕二教育2015」が五月二十七日、長と神崎市の田代高規教育「スポーツの力で日本を元長が午前九時ころから十数気に」をテーマに全国で分間、電話でエール交換を開催された。この二日前のしたもので、お互いの健闘五月二十五日、湯上市ではを誓い合った。

同日の対戦相手、佐賀県神 湯上市は今年で三回目、同市との間でエール交換が神崎市は六回目の参加。



◆チャレンジデー2015開催を前に、佐賀県神崎市の田代教育長と電話でエール交換、湯上市の肥田野教育長(市役所新庁舎教育長室)

2015年5月28日 木曜日 湖畔時報



グラウンド・ゴルフ交流会

主 催

鹿角市チャレンジデー実行委員会 (会長 児玉 一)
鹿角市教育委員会 スポーツ振興課
〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田 4-1
TEL: 0186-30-0297 FAX: 0186-30-1140

結 果

人 口: 33,243 人	秋田県鹿角市	○
参加者数: 22,610 人	VS	
参加率: 68.0%	島根県雲南市	●
取得メダル: 金		

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操&ストレッチ (鹿角市役所) 268 人
- ②オープニングイベント (みんなでラジオ体操) (八幡平小学校グラウンド) 250 人
 - ・毎年オープニングイベントとして、市内の小中学校を会場に、保護者や市民の方にも参加を呼びかけ、ラジオ体操を実施しています。今年は八幡平小学校を会場に、鹿角市スポーツ推進委員を講師に全員でラジオ体操を行い、250 名の参加がありました。
- ③毛馬内盆踊り教室 (十和田市民センター) 210 人
- ④グラウンド・ゴルフ教室 (十和田市民センター ほか) 79 人
- ⑤レクダンス&フォークダンス (花輪市民センター) 53 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

メディア

北鹿新聞/米代新報/鹿角きりたんぼ FM

広報・周知

市広報紙及びホームページに PR 記事を掲載して参加を呼び掛けたほか、自治会を通じて全世帯への裏面が参加報告用紙のチラシ配布を行いました。そのほか、市内各企業、学校、保育園、幼稚園、市民団体等に訪問または文書により直接協力をお願いしました。また昨年度より、コミュニティ FM を活用して対戦市とのエール交換の様態を放送しております。

今年度から、秋田県内の全市町村がチャレンジデーを実施することとなり、本市独自の PR のほか、県内では多くのメディアに取り上げられ、その相乗効果もあって認知度は高まったものと思います。

製作物

チラシ 18,000 枚/スタッフ T シャツ 36 枚/ポケットティッシュ 1,000 個/タオル 900 枚

実施効果

市を挙げての実施は 3 回目となりますが、年々市民の認知度が高まっているようです。今年は、全体の参加率は昨年よりも下がったものの、個人や市民団体からの自主的な報告者数は増えていました。他市町村との対戦型という珍しいシステムが功を奏し、市民一丸となって挑戦するという気運の高まりにつながっていると思います。また、このイベントが市民の健康づくりを考えるきっかけとなり、日常的な運動の習慣化に結びつくことを期待しています。

「スキーと駅伝のまち」を掲げ、スポーツによるまちづくりを推進する本市にとって、競技スポーツだけではなく生涯スポーツ活動の普及も目標ですので、市民にとってもっとスポーツや運動が身近なものとなり、運動実施率が向上するよう、今後もチャレンジデーへの挑戦を続けていきたいと考えています。

担当者から

昨年に即した形で今年も実施しましたが、実際やってみるといくつかの改善すべき点や、対戦市からヒントをいただいた点などもありました。来年は今年よりも多くの市民が、もっと楽しんで参加できるイベントになるよう、引き続き検討していきたいと思っています。



オープニングイベント (開始式)



日本舞踊 (花輪市民センター)

2015.05.27
午後5時現在で実施率38% チャレンジデーで鹿角市

人口が同規模の自治体同士で運動・スポーツの住民参加率を競うイベントが全国で行われ、鹿角市内でも各地で市民たちが心地よい汗を流しています。

「チャレンジデー」と題したこのイベントは、毎年5月最終水曜の午前0時から午後9時までで、15分以上の運動・スポーツの住民参加率を競うイベントです。敗れた自治体は相手の旗を庁舎に1週間掲げるというユニークなルールもあります。

今年度は全国の130自治体が参加しています。このうち秋田県は、全国で初となる全市町村の参加となりました。

全市での参加は3回目となる鹿角市ではこの日、市民センターなどで自由参加の各種教室が行われたほか、自治会、学校、事業所などに取り組みが依頼されました。

朝には八幡平小学校（瀬川正長校長、児童189人）で市のオープニングイベントが開かれ、児童約190人をはじめ付近住民を含む約250人が参加しました。ラジオ体操の中で腕を大きく振ったり、リズムを取りながらジャンプを繰り返したりして、心地よい汗を流していました。

県のチャレンジデー大使に任命された十和田瀬田石のスキー選手、石垣寿美子さん（30）はあいさつで、「私も普段からスキーの練習をしています。八幡平にはスキー場やサイクリングロードもあるので、良い環境ですね」と述べ、日ごろからスポーツに取り組むことを勧めていました。

鹿角市は去年、住民の運動実施が71.7%となり、対戦相手の2市町に1勝1敗という成績でした。ことしは10回目の参加となる鳥根県の雲南市に挑んでいます。

主催する笹川スポーツ財団によりますと、鹿角市は午後5時現在で38%で、目標の70%に届いていません。対戦相手の雲南市は12.8%ということです。

チャレンジデーの対象は27日午後9時までの運動で、市では取り組みと、その報告を呼びかけています。お問い合わせはスポーツ振興課（電話30・0297）へお寄せください。



2015年5月27日 水曜日
鹿角きりたんぼFM（ニュース）

チャレンジデー ともに「金」メダル

鹿角市と小坂町の参加率は60%超

人口規模が同じ自治体同士で15分以上運動した住民の参加率を競うイベント「チャレンジデー2015」の結果が28日、まとまった。参加率によつて授与されるメダルは鹿角市が3年連続、小坂町は初「金」をそれぞれ獲得した。

鹿角市は3年度目、小坂町は5年度目の挑戦で、鹿角市は鳥根県雲南市、小坂町は北海道本別町とそれぞれ対戦した。この結果、鹿角市（人口3万3243人）は参加率88%（参加者2万2610人）で、雲南市（4万3000人）が58.4%（2万3000人）

△で、勝利を取った。一方、小坂町（5643人）は82%（4608人）で初めての「金」を獲得したが、本別町（7706人）が67.1%（5174人）と小坂町の参加率を上回り、対戦には敗れた。

小坂町は敗れた場合のルールに従って本別町の旗を本庁舎前に掲げたほか、鹿角市は対戦には勝利したものの、互いの健闘をたたえ雲南市の旗を掲げた。

2015年5月29日 金曜日 北鹿新聞



両市の健闘をたたえて

チャレンジデー 対戦相手の雲南市に勝利 目標の61%を達成で「金」

鹿角市 小坂町

人口が同規模の自治体同士で運動・スポーツの住民参加率を競う「チャレンジデー」が二十七日行われ、鹿角市は参加率六八%で、目標としていた参加率七〇%にはとどかなかつたものの、対戦相手の鳥根県雲南市に勝利した。一方、小坂町は六二%で北海道本別町に敗北したが、目標としていた金メダルを獲得した。

市内では各市民センターなどで自由参加の各種事業が行われたほか、学校や事業所に十分以上の運動・スポーツの実践が広く呼び掛けられた。市スポーツ振興課によると、対戦の同日午前零時から午後九時までに行われた運動・スポーツを実践した市民は二万二千六百十人と推計。今年は例年に比べ、個人での参加が一週間掲げるルールだ

加報告が多かった。参加率は目標の七〇%にわずかにとどかなかつたものの、参加率で決まるメダルは五〇%以上に贈られる「金メダル」を得た。対戦相手の雲南市の成績は、参加者五八・四％（参加人数二万三千九百五人）だった。対戦で敗れた自治体は相手の旗を庁舎などメインホールに一週間掲げるルールだ

が、市は二十八日の終日、雲南市の旗を掲げ、対戦した自治体の健闘をたたえた。

同課は「これをきつかけに、毎日の生活の中でも楽しみながらスポーツや運動に親しんでほしい」と呼び掛け、今年度も実施状況は、全国のエントリー数百三十自治体（六十九市、四十八町、十三村。総参加人口は五百二十五万四千五百三十三人、参加者は二百七十七万七千二百二十一人）で、平均参加率は二七・七％。各メダルの取得数は▽金六十七個▽銀五十六個▽銅七個だった。

2015年5月29日 金曜日 米代新報

主 催

上小阿仁村チャレンジデー実行委員会（会長 小林悦次）
教育委員会生涯学習班
〒018-4421 秋田県北秋田郡上小阿仁村小沢田字向川原 60-3
TEL：0186-60-9000 FAX：0186-77-3223

結 果

人 口：2,589人	秋田県上小阿仁村 ●
参加者数：1,656人	VS
参加率：64.0%	岡山県新庄村 ○
取得メダル：銀	

プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①クリーンアップウォーク（各集落）300人
- ②小中学校チャレンジデーウォーキング（小中学校）124人
- ③かみこあにスポーツ少年団育成会レクリエーション交流会（トレーニングセンター）107人
 - ・30・40歳代の保護者世代をターゲットに交流会を開催しました。
 - ・ボール送り、フリースロー、ボール運びなどを実施し多くの参加者で賑わいました。
- ④ポールストレッチ（保健センター）27人
- ⑤健康チェックと健康おみくじ（トレーニングセンター）12人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／社会福祉協議会／病院・診療所

メディア

秋北新聞／北鹿新聞

広報・周知

村内各世帯に設置されているIP電話（愛称 こあに電話）を利用し、チャレンジデー開催と参加を呼びかけました。
また、チャレンジデー前日及び当日に全集落を広報車が巡回して参加を呼びかけるなど、村民に周知しています。

製作物

チラシ2,000枚／スタッフTシャツ20枚／ポケットティッシュ2,000個／のぼり20本／帽子30個／地区別対抗戦チャレンジデー賞楯（レプリカ）4個

実施効果

チャレンジデーへの参加を集落別対抗としたことで、地域の団結力が強くなりました。
また、チャレンジデーをきっかけに村では毎日午前6時30分と午後3時に、防災広報無線でラジオ体操を放送することになり、

村民の健康づくりへの意識が高まりました。ラジオ体操の放送はチャレンジデーが終わった現在でも続けております。

担当者から

昨年に引き続き2回目の実施となり、参加率65%を目指して取り組みましたが、惜しくも1%及びませんでした。しかしながら昨年より参加者が増加し、住民のチャレンジデー・健康づくりに対する意識の高揚が見られたことは大変嬉しく思います。

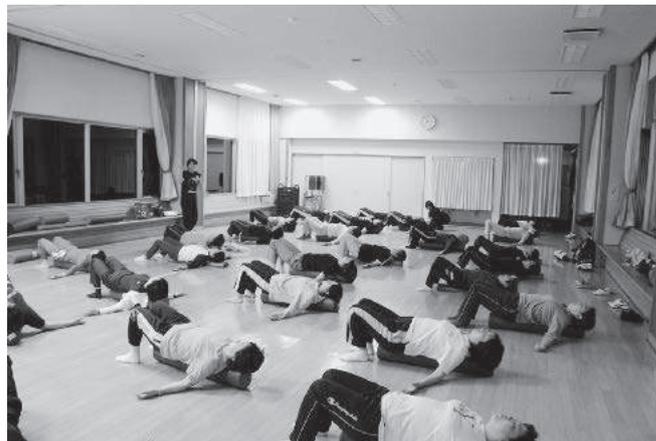
チャレンジデーの開催に当たっては半年以上も前から準備をする必要があり、関係者の方々には大変な苦勞がありますが、今後も継続してチャレンジデーに挑戦し、住民の健康づくりの一助になればと考えております。



オープニングセレモニー



スポ少交流会



ポールストレッチ

互いの健康誓いの会

チャレンジデー前にエール交換

上小田「相手不足と思うが」
小林村長

27日のチャレンジデーも水戸市の小沢町、岡山県新庄村（以下、岡山）の両市村が、互いの健康を誓う「互いの健康誓いの会」を開催した。岡山県新庄村長と電話でエール交換を行う小林村長



岡山県新庄村長と電話でエール交換を行う小林村長

上小田エール交換を行う小林村長

小林村長は、チャレンジデーに参加するにあたって、岡山県新庄村長と電話でエール交換を行った。小林村長は「相手不足と思うが、チャレンジデーに参加するにあたって、岡山県新庄村長と電話でエール交換を行った。小林村長は「相手不足と思うが、チャレンジデーに参加するにあたって、岡山県新庄村長と電話でエール交換を行った。」と述べた。

2015年5月22日 金曜日 秋北新聞

市・村民スポーツに汗

チャレンジデー2015

体育施設を無料開放

北秋田 市内 水泳教室など開催

水泳教室、水泳教室など開催。市内の体育施設を無料開放し、市民が気軽にスポーツを楽しめるように努めた。水泳教室、水泳教室など開催。市内の体育施設を無料開放し、市民が気軽にスポーツを楽しめるように努めた。



幼児から大人までがようかい体操にチャレンジした中央公民館会館

屋内外で多彩な催し

上小田村 好みの運動に親しむ

上小田村は、市民が気軽にスポーツを楽しめるように努めた。水泳教室、水泳教室など開催。市内の体育施設を無料開放し、市民が気軽にスポーツを楽しめるように努めた。



バレーボールなど好みのスポーツに親しんだ上小田村のチャレンジデー（健康増進トレーニングセンターで）

2015年5月28日 木曜日 秋北新聞

北秋田 古いも若きも運動

チャレンジデー 2市村で住民が汗

全国の自治体が住民のスポーツ参加を促す「チャレンジデー2015」が27日、水戸市と上小田村で開催された。水戸市と上小田村は、市民が気軽にスポーツを楽しめるように努めた。水泳教室、水泳教室など開催。市内の体育施設を無料開放し、市民が気軽にスポーツを楽しめるように努めた。



水戸市と上小田村は、市民が気軽にスポーツを楽しめるように努めた。水泳教室、水泳教室など開催。市内の体育施設を無料開放し、市民が気軽にスポーツを楽しめるように努めた。

2015年5月28日 木曜日 北鹿新聞

主 催

北秋田市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 津谷永光)
北秋田市教育委員会 スポーツ振興課
〒018-3331 秋田県北秋田市鷹巣字東中岱 11
鷹巣体育館内
TEL : 0186-62-3800 FAX : 0186-62-3801

結 果

人 口 : 34,716 人 秋田県北秋田市 ○
参加者数 : 20,381 人 VS
参加率 : 58.7% 大分県杵築市 ●
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①買い物ウォーキング (市内大型スーパー 3 店舗) 1,181 人
- ②平成 27 年度鷹巣地区バスケットボール大会 (北秋田市鷹巣体育館) 200 人
- ③運動教室 (水泳、水中運動、ストレッチ、等) (北秋田市民プール) 186 人
- ④北秋田市長杯 in チャレンジデーグラウンド・ゴルフ大会 (北秋田市ハイランド広場) 101 人
 - ・グラウンド・ゴルフを通じて、日常的なスポーツの習慣化に向けたきっかけづくりとスポーツによる健康づくり、参加者の親睦と交流による地域づくりを目的に実施しました。
 - ・全 32 ホールの合計打数で競い、1 位～6 位およびホールインワン賞、ラッキー賞等をもうけて、参加者に喜んでもらうようにしました。
 - ・今年はチャレンジデー大使 (県内大使) として、クロスカントリースキーで活躍の石垣寿美子氏を迎えて激励をいただきました。
- ⑤ようかい体操 (北秋田市中央公民館) 89 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

メディア

秋田魁新報／秋北新聞

広報・周知

従来、市職員が中心であった実行委員会に、自治会、体育協会、商工会、老人クラブ、婦人会等の住民団体からも参加いただき、きめ細かい周知が図られたことにより、住民団体の自主的な取り組みが多くなりました。

製作物

チラシ 35,000 枚／スタッフTシャツ 120 枚／ポケットティッシュ 2,000 個／のぼり 100 本

実施効果

チャレンジデーは対戦に勝利する事が主目的ではありませんが、誰もが対戦の勝敗を意識します。その結果、勝利を目指して市民が自ずから何をすればよいのか、何ができるのかを考えることにつながり、日常の運動やスポーツを意識していない人が、スポーツ、健康について意識するきっかけとなったと思います。

担当者から

市が企画したプログラムの参加者よりも、職場や地域住民が自ら企画実践した事例が増え、この活動が、地域コミュニティづくりの一助となることが大いに期待できます。



グラウンド・ゴルフ参加者と石垣さん



バランスボール教室



自治会のウォーキング

主 催

小坂町チャレンジデー実行委員会（実行委員長 細越 満）
小坂町教育委員会 学習振興班
〒 017-0201 秋田県鹿角郡小坂町小坂字砂森 7-1
小坂町交流センター内
TEL：0186-29-2069 FAX：0186-29-4436

結 果

人 口：5,643 人	秋田県小坂町	●
参加者数：3,498 人	VS	
参加率：62.0%	北海道本別町	○
取得メダル：金		

プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①オープニングセレモニー&ノルディックウォーク（小坂町中央公園）400 人
- ②小坂高校ラジオ体操・よさこい演舞（小坂高等学校）180 人
- ③ロープ・ジャンプ・X（小坂町陸上競技場）140 人
 - ・中学校の体育祭で長縄跳びを行っていることから、全国共通イベントへの参加として実施しました（今回 2 回目）。記録よりも全員参加を重視して取り組み、仲間作りやクラス全員での一体感、達成感を創出することができました。
- ④パークゴルフコンペ（小坂町みんなの運動公園）70 人
- ⑤ニュースポーツ体験（小坂町向陽体育館）30 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／自治会・町内会／高齢者団体／社会福祉協議会

メディア

北鹿新聞／よねしろ新報

広報・周知

周知用のチラシを全戸配布し参加啓発に取り組みました。またポスター・チラシを団体・企業等にも配布しながら協力を要請し、町を挙げての取り組みへとつなげてきました。5 回目の実施でチャレンジデーが浸透してきたこともあり、こうした取り組みにより前年からの参加率アップへと結びつき、目標とする参加率を達成できました。

製作物

チラシ 3,500 枚／ポケットティッシュ 1,000 個／タオル 300 枚

実施効果

5 回目の実施で取り組みが浸透してきたことありますが、対戦相手との勝負や参加率へのこだわりだけでなく、チャレンジデーの開催を通じて、広く日常的な運動の必要性・重要性を周知

することができました。また、気軽にスポーツに触れる機会の提供、運動のきっかけづくりという意味でも健康増進につなげることができました。



ロープ・ジャンプ・X



小坂高校全校生徒によるラジオ体操



多くの町民が参加したラジオ体操

主 催

五城目町チャレンジデー実行委員会 (会長 渡邊彦兵衛)
五城目町教育委員会 生涯学習課
〒018-1723 秋田県南秋田郡五城目町上樋口字堂社 75
TEL : 018-852-4411 FAX : 018-852-4414

結 果

人 口 : 10,182 人 秋田県五城目町 ○ ○
参加者数 : 5,735 人 VS
参加率 : 56.3% 北海道芦別市 ●
取得メダル : 金 熊本県あさぎり町 ●

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①グラウンド・ゴルフ交流大会 (町運動公園芝生広場) 100 人
・ 町グラウンド・ゴルフ協会の協力により、4 コース合計 36 ホールの大規模な大会が可能で、チャレンジデーのみならず、平日は多くのファンで賑わっています。今回も、レベルの高い交流会として真剣勝負をしたり、笑顔が飛び交っていたりと時間を満喫していました。
- ②ゲートボール交流大会 (スパーク五城目) 30 人
- ③高齢者体づくり (町周辺ウォーキング) 30 人
- ④楽しくエアロビクスきょうしつ (町体育館) 30 人
- ⑤太極拳 (町体育館) 40 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／社会福祉協議会／． 病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

メディア

NHK 秋田放送局／秋田魁新報／湖畔時報社

広報・周知

全戸配布のチラシや、企業訪問などを徹底し、周知を図りました。

製作物

チラシ 4,500 枚／スタッフ T シャツ 35 枚／ポケットティッシュ 5,000 個／のぼり 20 本／タオル 400 枚

実施効果

7 年ぶりの勝利とさらに金メダル獲得ということで実行委員一同、大変喜びました。町内会および企業の認知度も安定してきており、今後もチャレンジデーのみならず、普段から運動・スポーツに取り組んでもらえるよう周知を図っていきたいと思います。



人気の太極拳



対戦相手の首長とのエール交換



大賑わいのグラウンド・ゴルフ交流大会

主 催

仙北市チャレンジデー実行委員会 (会長 門脇光浩)
仙北市教育委員会 スポーツ振興課
〒014-0392 秋田県仙北市角館町東勝楽丁 19
TEL : 0187-43-3390 FAX : 0187-54-1727

結 果

人 口 : 28,570 人	秋田県仙北市	○
参加者数 : 14,607 人	VS	
参加率 : 51.1%	神奈川県松田町	●
取得メダル : 銀		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①仙北市民交流グラウンド・ゴルフ大会 (桧木内川河川公園) 173 人
- ②仙北市合同武術太極拳交流会 (角館武道館) 70 人
- ③ラジオ体操&ウォーキング (桧木内川堤及び生保内地内) 30 人
 - ・誰でも簡単にできるラジオ体操とウォーキングを組み合わせ、今年度初めて実施しました。
 - ・参加者全員でラジオ体操を行った後、スポーツ推進委員によるウォーキングの講習を行い、それぞれの参加者が自分の姿勢や歩き方のチェックをし、その後実際に約 30 分のウォーキングを行いました。
- ④歴史を感じてウォーク (武家屋敷通り) 11 人
- ⑤各種スポーツ (ストレッチ、卓球、スクエアステップ他) (角館総合型地域スポーツクラブ及びきたうらアクアスポーツクラブ) 30 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会

広報・周知

仙北市チャレンジデー実行委員会の公式 facebook ページを開設し、チャレンジデーのイベント情報や準備状況、当日の様子などをアップし、周知を図りました。

製作物

チラシ 14,000 枚／ポケットティッシュ 1,500 個／のぼり 16 本／横断幕・懸垂幕 1 枚

実施効果

- ・参加人数がこれまでで 1 番多く、チャレンジデーを通して市民や各種団体のスポーツや運動に対する意識が年々高まってきていると感じています。今回は自主的にイベントを企画、実施した団体もあり、多数の市民の参加がありました。このような動きはスポーツや運動に対する意識が高まっている結果であり、今後日常的な運動につながっていくものと感じています。

- ・市内の小学校に参加票の回収箱を設置し、子供たちが自ら参加票を記入し、回収箱に投函しました。この取り組みによりチャレンジデーに参加することの楽しさを実感し、スポーツや運動を身近なものとして感じてもらうことができました。
- ・各種イベントを実施したことで、参加した市内各地区の住民がスポーツを通じて交流を深めることができました。

担当者から

チャレンジデーを担当して今回で 3 回目になりますが、人口は年々減っているものの、参加者数、参加率は増えており、少しずつではありますが、市民にも浸透してきていると感じています。チャレンジデー実施後には市民からチャレンジデーに参加した、報告したというお話や、対戦結果の問い合わせなどをいただきました。このようなことは以前にはなかったため、今後も関心を持っていただけるよう広く PR していきたいと思えます。

また、当日実施した各種イベントには多くの市民に参加いただきました。各団体との事前打ち合わせや調整等である程度の時間はかかりましたが、様々な人と交流を深めることができ、スポーツの楽しさや面白さを参加者全員で共有できるイベントであることを改めて強く感じました。目標である参加率 55%、金メダル獲得には未だ及びませんが、市民の誰もが気軽に、簡単に参加できるイベントを次回以降も企画し、スポーツや運動の普及、きっかけづくりを図っていききたいと思います。



仙北市合同武術太極拳交流会



仙北市民交流グラウンド・ゴルフ大会